

Rotary



職業奉仕委員会

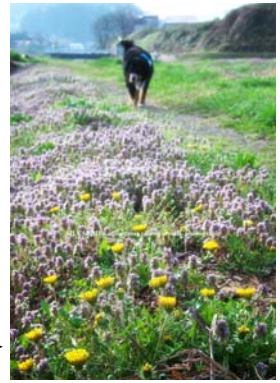
# 例会報告

高山ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行 高山支店 4 F

- 会 長 古橋 直彦
- 幹 事 遠藤 隆浩
- 会報委員長 塚本 直人

春の気配  
蜘蛛 康介

## <会長の時間>

今晚は、次年度のスタートに向けての新旧委員長会議が開催されます。関係する委員長の皆様、よろしくお願ひ致します。

先週の祭りの話と関連した話題になります。来週、14 日 15

日と春の高山祭り「日枝神社の例大祭」が執り行われます。西 RC も 15 日は休会となります。昨年は両日ともに、あいにく雨に見舞われ残念なお祭りでした。今年の宮本は琴高台組（本町 1 丁目）です。宮本長は、以前高山西 RC にも在籍されていました長尾肇さんです。平日の開催となりますが、何とか良いお天気になればと願っています。

さて、以前にも会長の時間で話しました高山の別表神社、金幣社ですが、この別表社 2 社、金幣社 4 社はお互いにお祭りの際、氏子総代に対しご招待があります。従って、日枝神社の例大祭には、別表社の飛騨一宮水無神社、櫻山八幡宮、金幣社の飛騨総社、飛騨天満宮、飛騨護国神社の氏子総代が 2 名ずつ参列します。

日枝神社の例祭は 14 日午前中に執り行われます。以前 10 時からでしたのが 5 年程前から 9 時半になり、また 2 年程前から 9 時に変わり当初より 1 時間も早くなっています。結果、直会も 10 時すぎには始まります。この日は午後には飛騨天満宮の例祭もあります。以前、櫻山八幡宮の責任役員を勤めていた際、日枝から天満宮のかけもちをしたことがあります朝酒・昼酒と大変疲れました。

さて、直会とは神社の祭典のあとに神様に供えた御神酒や神饌を下げて、一同で共に頂くことをいいます。「直る」とは、平常の状態に戻ることを意味します。祭典時から平常の状態に戻すため、また、祭典の締めくくりとして、大きな意義を有する事柄です。前置きが長くなりましたが、春の高山祭り、日枝神社では直会の際には、必ず「榎子盛り」が出ます。その榎子の話です。

榎子という名前が、料理を盛り付ける木の皿のことをいいます。神社の祭りで欠かせないごっつおの一つが「榎子盛り」です。漆（うるし）塗りの木製の器で、大皿から銘々に取り分ける皿で、朱塗や黒漆（くろうし）、蒔絵入り、春慶など種類も多彩。榎子に盛られた料理を榎子盛りと呼びます。木地師がいた飛騨では、身近な器でした。

かつて祭りの日には旦那衆が小作人やお百姓さんを招き、一人ずつに分けた料理を食べさせていました。お祭りの時は無礼講となっていて、それが百姓衆には日頃の憂さ晴らしになりました。打ちこわしや付け火を予防するための文化だったのでしょうか。親戚や知人をその方の自宅に招いて酒や料理を振る舞う「呼びひき」にも 1 人一つの割り当てでこの榎子がお客様に出される風習となっています。年 1 回の祭りの日はタダで飲んだり食べたり出来た名残が呼びひきにつながったのでしょうか。現在では、呼びひき自体をやめてしまったところが多くなり、また呼びひきをやっているところもオードブルで済ませるところが多くなり、この

榎子をつかったところは市内でも一部のようなです。

日枝神社の直会には「洲さき」の榎子盛りがでます。洲さきさんの場合、「榎子盛りは」18 cm=6 寸の春慶の皿に「赤飯」「こもどうふ」「ぜんまい」「赤かぶ」「ますの照り焼き」「たまごやき」「結び昆布」「かまぼこ」「べっこうえびの甘露煮」と毎年決まっています。

直会に着くと「榎子盛り」の他、刺身、小鉢、吸い物が出ます。来賓の多くの方は「ちゃつ」以外を肴に御酒をよばれ、「ちゃつ」は敷き紙に移し、包んで持ち帰られます。

宮本を三番叟組が勤めた H23. の山王祭りの直会時に、三番叟組の角正さんが「榎子盛り」を用意されました。同じ料理屋さんでも、角正さんでは「赤飯」「青うめ」「こんにやく」「えび」などが盛られていました。15 年に 1 回の経験でした。

櫻山八幡宮、飛騨総社、飛騨護国神社もそうですが、一般には二段の折が付きまます。ただ、折は乾杯が終了すると折だけ持って帰られる方も多く、ゆっくり召し上がって頂きたい主催者としては、この榎子盛りはあっていると思います。

## <幹事報告>

### ◎高山ロータリークラブより

- ・事務所移転のお知らせ  
十六銀行高山支店 2 階へ  
4 月 11 日(月)より移転

### ◎濃飛グループガバナー補佐より

- ・濃飛グループ会長・幹事懇談会開催のご案内  
日 時 6 月 25 日(土) 15:30~  
場 所 洲さき

### ◎次期地区青少年育成小委員会 委員長 下田 徳彦氏より

- ・出前講座活動報告 DVD

## <例会変更>

- 高山 …5 月 5 日(木)は、法定休日(こどもの日)のため休会  
5 月 12 日(木)は、十六銀行新店舗オープンのため  
十六銀行高山支店に変更  
6 月 30 日(木)は、定款第 6 条第 1 節により 休会

## <受贈誌>

- 不破 RC(会報)、不破の関 RC(会報)、社団法人高山市文化協会(広報高山の文化)

## <出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	31 名	1 名	32 名	42 名	76.19%
本日	28 名	—	28 名	28 名	66.67%

世界へのプレゼントになろう

# 例会報告

## ＜本日のプログラム＞ 職業奉仕委員会

委員長 鴻野 幸泰

本日の例会は職業奉仕委員会担当例会で、クラブメンバー斎藤 章さん、向井 公規さん、田邊 淳さんのお三方に職業奉仕の考え方についてお話いただきます。

先日、創立50私有年記念誌を頂いた中で、座談会のページがありました。その中の山本善一郎さんの発言で、職業奉仕に関連した部分がありましたので、ここで改めて皆さんにご紹介させていただきます。

「私としては、ロータリーの根幹がI serveからWe serveになってからおかしくなっていたのではないかと気がします。ロータリーのはじめは、いかに正しい商売(事業)の方法を確立するかということが主題であり、その原点を見つめ直すことが必要だと思います」

私自身この部分を読んだ時、職業奉仕委員長として活動の在り方を考えさせられました。

そではお三方、最後までよろしくお願ひします。



### 斎藤 章

奉仕の第二部門である職業奉仕の目的は、事業及び専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で、

奉仕の理想を生かしていくことといわれています。

ロータリーが発足して間もなく、アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した“*He profits most who serves best*”「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というモットーのもと、ロータリアン一人ひとりの責任として、各々のロータリアンが各自の職場で個人的な貢献を行ってきました。

### 『職業奉仕の新方針』

RI 職業奉仕委員会が40年ぶりに1987年に開催され、1987-88年度RI 理事会は「職業奉仕は会員個人とクラブ双方の責任である」という「職業奉仕の新方針」を発表しました。ロータリー・クラブは職業をもたないのに、どうやって職業奉仕?とロータリアンのなかに、大混乱を招く結果となりました。

### 『I serve vs We serve』

クラブの役割は、たびたび職業奉仕を実践してみせることによって、また、クラブ自身の行動に職業奉仕を生かすことによって、模範となる実例を示すことによって、さらに、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を実践、奨励することである。とされています。

### 『職業奉仕の課題』

パンフレットの冒頭、「ロータリーは職業奉仕の団体である」

と書いてありました。1999年に発行されたパンフレットでは「ロータリーは国際奉仕の団体である」という文章に変わりました。これは、ロータリーにとって大きな変化と言わざるを得ません。RI はいろんな角度から、職業奉仕をなし崩しにかかり、職業奉仕を忘れ去って、ボランティア活動にのみ奔走しているようにさえ見えます。それを打開するためにも、ロータリーの固有の奉仕理念は変えてはなりません。ロータリーが他の奉仕団体と本質的に違う点は、職業奉仕の概念を持っていることです。

職業奉仕の理念を捨て去って、ボランティア組織に移行することの愚かさを自覚しなければなりません。ロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるように、簡潔かつ的確にまとめたものが「四つのテスト」です。

### 向井 公規

本日職業奉仕に関してのお話ということですが、私自身、未だに職業奉仕という言葉の理解が浅かったり、社会奉仕と混同してしまいがちですの



で、的外れな話にならなければと思っておりますが、よろしくお願ひいたします。

今まで伺った話の中で、職業奉仕の意味、社会奉仕との違いは職業奉仕は、受益者が自分自身。社会奉仕は、受益者が自分以外つまり職業を営む事(=お金を儲ける事)が、世の為人の為の奉仕となると解釈しております。

そういう中で考えると、美術館運営というのは、職業奉仕とは少し距離があるように感じます。実際、利益を出している美術館というのは極わずかで、運営側も利益を出すという認識はとても低いと思います。ですので、何らかの補助や寄付を受け続けなければ存続することなんてできないというのが普通になっており、それでもまだ赤字が出るのは、普通という考えがあるように感じます。しかし赤字は出ても、国民・地域の方への文化的寄与をしているという意識は強いと感じますので、美術館は、職業奉仕というより、社会奉仕寄りの事業と認識しています。

美術館はそもそも、作品を収集、保存・研究、展示する目的で誕生していますので、そういった流れで収益に対する意識が、他の業種よりも低いという事には不思議ではないのですが、株式会社の運営している、当・飛騨高山美術館はそういう訳にはいきません。しっかりと収益化できる事業として確立する必要があり、どのようにしたら良いのか?を美術館に從事した当初は悩みましたが、利益が出ない美術館運営が、いわゆる現状の美術館らしさであるとするなら、利益が出る美術館にするには、美術館らしくない美術館としての側面も構築する必要があると考え、今は特にそう言った部分に力を注いでおります。

その中でウェディング事業部を立ち上げ、「美術館で結婚式」というものを構築したり、7・8月限定で、皆様含め多くの方にご利用頂いてます「ピアガーデン」を開催したり、それ以外にも、レストランの方では飲食を中心とした各企画、ミュージアムショップでは、各ワークショップなどを企画行っています。また写

世界へのプレゼントになろう

## 例会報告

生大会も行っておりますが、通常美術館内は、メモやスケッチに鉛筆のみの使用が可能です。写生大会の日は、書ける道具はほぼ全て使えるようになっており、国内美術館では考えられない事ですので、国内美術館では稀な事も積極的に行っております。

つまり作品鑑賞としての美術館だけではなく、何かが出来る、そして何かをやっている場所として利用・活用して頂けるよう「みんなの美術館」というコンセプトのもと、今後も、美術館らしさと、美術館らしくない部分を大切に、しっかりと収益が上がる事業運営を行っていきたく思います。もちろん、美術館本来の役割も無視はできませんので、その取り組みを行い始めております。しかし、美術館は難しい、敷居が高いといった声もまだまだ多いのが現状です。

私の好きな言葉に、井上ひさしさんの

むずかしい事をやさしく やさしい事をふかく  
ふかい事をおもしろく おもしろい事をまじめに  
まじめな事を愉快地に 愉快な事はあくまでも愉快地に  
という言葉があります。

この言葉には、私にとって多くのヒントがありますので、美術品の展示方法や見方・接し方そして発信の仕方を模索していきたく思います。それにより、職業奉仕と社会奉仕の両輪が整う美術館運営を目指して精進したいと思っております。

### 田邊 淳

日本での「旅行」の起源は「お伊勢参り」といわれています。一生に一度は「伊勢参り」と言われる程、人生の目標であった旅行である。また当時は交通機関も全く無く徒歩での旅行が主であり、道中の治安も不安定でしたから、命がけの「旅行」であったと思われま



現在において旅行といえは色々な「旅行」があります。「職場(慰安)旅行」「修学旅行」「卒業旅行」「家族旅行」「記念日旅行」「出張」「研修」「大会・会議参加」などなど、個人的な余暇・記念を楽しむもの、帰属している組織の親睦(RC的に言えば好意と友情を深める)の向上を計るもの、業務性のもの、知識・教養を深めるもの。「旅行」には数々の目的や要素があります。

何れの旅行にせよ、共通しているものが『「人と人」や「文化と文化」との交流』であると考えています。旅行に同行する友人・知人等は勿論、旅先でである人や文化、自分とは異なる地域や文化、考えをもつ人間おしの交わりこそが「旅行」といえるのでは無いでしょうか。JTBではこの点から、自社を「旅行業」とは思わず「交流文化産業」と称しています。JTBの企業情報には

「交流文化産業」とは『人と人との交流を基軸として、法人や個人のお客様の課題解決や精神的な満足を提供するビジネス』と位置づけています。

と掲載されていますが

- ・職場旅行により、企業・組織内の意思疎通はスムーズとなった
- ・父親の還暦旅行を契機に、退職後の父親の目標が決まった。

・大会参加により、多様な参加者との交流により自身の考え方が影響を受けた

などなど「旅行」=人と人の交流=旅行参加者が元気になる(健康面だけではなく精神面において元気になる)と考えています。

旅行起源の「お伊勢参り」も宗教的意義である「神との交流」を目指し、旅人自身またその家族や地域の健康や安定を目的としたことでした。つまり色々な形の「旅行」を契機に個人は勿論、地域や日本、世界が「元気になる」、これこそが「旅行」の本質であり、そのお手伝いを行うことが当社の「職業奉仕」であるとと考えています。

まあ前述のように堅く・難しく考えているつもりは無いですが当社にご来店又ご依頼されるお客様のほぼ全ての方が、旅行に期待を膨らませ笑顔でご来店されます(一部例外もあるかも・・・)。普通は嫌々で旅行してしませんよね(これも例外ありますが・・・)そんな、お客様の「楽しみ」「わくわく」への入口、ご期待を叶えるお手伝いをするのが当社「高山エース旅行センター」です。

みなさん、「旅は心の栄養剤」「旅は知識を深めます」「旅は文化交流を深めます」。人の成長には不可欠であり、是非「旅行」にどんどん行きましょう!

今年度の目玉は「北海道新幹線」「リオオリンピック」「TDS、USJ 開業 15 周年」と目白押し! 是非行って頂きたいですね

### <ニコニコボックス>

#### ●古橋 直彦さん、遠藤 隆浩さん

今日の職業奉仕担当例会、斎藤さん、向井さん、田邊さん、スピーチよろしくお願いします。期待しています。

#### ●鴻野 幸泰さん

本日は職業奉仕委員会の担当例会です。斎藤さん、向井さん、田邊さん、よろしくお願いします。

#### ●斎藤 章さん

本日、職業奉仕の拙いお話しをさせていただきます。まとまりのない話になると思いますが、よろしくお願いします。また今月は夫婦揃っての誕生日を戴きありがとうございます。

#### ●住田 泰典さん

桜が咲き春本番となりました。私の中で春と言えば「ホテルイカすくい」です。一昨晩富山まで行って来ました。夜通し待ちましたが一匹も掬えませんでした、残念。「ホテルイカすくい」ではなく単なるロングドライブでした。

#### ●下屋 勝比古さん

リオ五輪の切符を取りに来週から韓国での大会に臨みます。トバクは絶対にしません。

#### ●田中 晶洋さん、新田 敬義さん、米澤 久二さん、大村 貴之さん、下屋 勝比古さん

市内の桜もちらほら咲き始めました。小中学校の入学式もあり、ピカピカの新入生があちこちで見られます。歳をとるとピカピカする部分が増えて来ますが、気持ちはいつも輝いていたいものです。

世界へのプレゼントになろう